



玉川通信

～ かけはし ～

学校だより NO. 2
令和7年 4月30日
昭島市立玉川小学校
校長 小瀬 和彦

子供たちの元気な挨拶でスタート！

新緑が眩しい、爽やかな季節となってまいりました。保護者・地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に御理解・御協力をいただき、有難うございます。

玉川小学校の毎朝は、玉川っ子の元気な「おはようございます！」という挨拶でスタートしています。

また、休み時間には校庭がいっぱいに子供たちの声がこだまし、元気よく遊んでいます。子供たちは、気持ちの良い新年度のスタートができたようです。

学校公開以外でも参観できます！

学校公開において、「仕事の都合上、参観できなった。」「子供の学校生活の様子が気になる。」という御家庭は、事前に担任か副校長に連絡をいただければ、参観が可能です。

学校経営の基本的な考え方

Society5.0の時代を迎え、生成AIなどデジタル技術の発展といった大きな変革が起こっています。今、世界では、温暖化、飢餓、紛争、格差、感染症といった国境を超えた課題が山積しているとともに、協調・競争と分断・対立による混乱の度を増すグローバル情勢の真っ只中です。

一方で、第4期教育振興基本計画の中で2点のコンセプトが示されました。

第1は、「持続可能な社会の創り手の

育成」であり、第2は、「多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会が幸せや豊かさを感じられるものとなるよう、教育を通じてウェルビーイング」の向上を図る「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」です。

このような社会的背景及び課題、要請を踏まえ、これからの学校教育には、「自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協調して問題解決を図り、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる人間を育てる」(ビジョン)ことが求められます。

学校教育目標

- ◎ 精いっぱい学習する子
(知)自ら学び考え・判断し、協働して問題解決を図る子を育てる。
- 人のためにつくす子
(情)自分のよさを見つめ、他者を尊重し共によりよく生きる子を育てる。
- すすんで体をきたえる子
(意)自らすすんで挑戦し、最後までやり遂げる子を育てる。
(体)自らすすんで心と体をきたえ、たくましく生きる子を育てる。

- 学校は失敗するところ！
- 教室は間違えるところ！
- 授業は子供が主人公！
- 誰一人取り残さない！ (ミッション)

- 「子供の成長を教育活動の『ど真ん中』におく！」を行動・判断規準とする。
(パッション)

5月の生活目標

「決まりある生活をしよう」「時間を守ろう」

＜学級での取組＞

- ・学校の生活時程を守る。(朝会・集会・休み時間・給食時間・清掃時間)
- ・遊び場の決まりを守る。
- ・学校の決まりを守る。

食育の日（お弁当の日）

5月19日（月）はお弁当の日です。昭島市では、食育の取組として年に3回のお弁当の日があります。お子さんと一緒に、食材を選んだり、バランスの良いメニューを考えたりすることで、食への興味関心を高め、お子さんが独り立ちした時に、バランスの良い健康的な食生活を、自分の力で送ることができる素地になります。御家庭と学校で連携し、食育を更に充実させていくことができるよう、御協力よろしくお願いいたします。



特別支援教室大空（大空教室）

特別支援教室大空では、学習上、生活上、配慮が必要な児童が困難さを改善、軽減できるよう指導していく教室です。学校および日常生活の中で、自らが、状況に合ったよりよいスキル（行動）を選択して、行動できるようになることを目指して指導しています。通常の学級に在籍して学習しながら、週に1回特別支援教室での指導を受けています。児童一人一人の困難さを効果的に改善し、日常生活や社会に適應できる力を身に付けさせていきます。

水泳指導前に必要な受診について

6月中旬から水泳指導が始まります。内科・耳鼻科・眼科については、水泳学習により悪化する可能性もあるため、「治療が済んだ」という返信票がないと、水泳学習に参加できません。必ず水泳学習開始までに受診してください。

なお、返信票は医療機関によって文書料が発生する場合があります。医療機関へお問い合わせください。



安全に楽しくお過ごしください

生活指導部

安全に楽しく連休を過ごせるように、以下について御家庭でも御確認をお願いします。

1 地域での遊び方について

- ・危険な場所（川、人気がない所、工事現場、廃材現場等）に行かない。
- ・石やその他落ちているものを投げたり、蹴ったりしない。
- ・出掛ける時は、家の人に、「どこに・だれと・何時までに帰るか」を必ず伝える。

2 河川での事故防止

（昭島市は、多摩川での遊泳は禁止としています。死亡事故が起きる年もあります。）

- ・子供だけで川に行かない。
- ・浅いと思っていても、急に深くなる場所がある。
- ・緩やかな流れであっても、急な流れになる場所がある。

3 道路交通法改定に伴った、自転車の利用について

- ・自転車を利用するときは、乗車用のヘルメットを被る。

